1871

140
453

鐵甲將軍作

金鵄勲章

一名連戦連勝血汐の花

壮年倶樂部

074319-000-1

特55-110

金鵄勲章

鉄甲将軍／著

M27

CEI-1541

金鵄勳章

金鵄章

「白日も光無くして乾坤暗く。物色も分ぬ硝煙の。隙を縫ひて剣戟の。閃く影も稍妻か。轟く砲聲萬雷の。一時に落來る如にて。大柱地軸も霹靂も。牡丹臺をば打破り。獅子奮迅の勢ひ。潮の如く押寄る。剛寧技隊の真先に。駒を立見の少將が。叱咤勵す號令の。下よ打出る小銃の。響と俱に全軍が。どつとあげたる吶喊に。只一揉と突進む。「要害無双の玄武門。柵壘固く築きつゝ。建列ねたる黄龍旗。斯慮破られてけ叶はじと。勇氣乏しき清兵も。決死の勢凄じく。「雨と打出す彈丸に。面向くべき術もなく。流石に猛き日本兵。前後二回の突貫も功を奏せず徒に。「牙を噛みける折柄に。列を離れて韋駄天と。走り出せる一卒が。見上る割りの城壁に。近く進め。一殺那。やつと一聲笹蟹の。苦もなく柵を躍り越へ。「死地に入りたる有様に。全軍勇氣は百倍し。味方打たとな救へやと。どつと喚ひて第三の。突撃なしたる瞬間に。「門は左右お開かれて。兵士は姿現はしつ。進む味方を麾き。流石堅固の玄武門。忽ち破れ平壌の。「勝利日本に歸しにけり。實にや虎穴よ入らざれは。虎子を得ざるの譬にて。名さへ得知れぬ一卒が。身を鴻毛にたくらべて。立ても稀世の大功は。黄金の鵄の勳章と光さばゆく敷嶋の。大和男子の忠勇は。「廣く四海に輝かん

葉志超

「武士の赤き心は紅葉の錦。散ての後の名を惜み。義を金鐵と重んぜる。日東男子が世に誇る。太和心に引かへて。恥を知らざる豚尾漢。遊就館内山なせる。分捕品の其中に。「人の目を引く一流れ。將旗を捨て、牙山なる。本營逃れし弱將は。「風に木の葉の葉志超。如何に詞や飾りけん。北京政府を瞞着し。軍以れし罰ならで。三萬兩の賞金を。受けて再び平壌に。張りし虚勢い一炊の。「夢と忽ち覺め果て、。猛けき旭の旗風に。左しも堅固の城壘も。落花微塵と打破れ。算を乱して斃れたる。豚の骸の其中に。秋野の蟲と通ふ息。「今い果敢なき斷末魔。姿目に立つ一將い。傍間近く落散し。醜態に知らるゝ葉志超。命惜みて弓取の。「神の怒に死恥を。野末に曝す四苦八苦。臆病末練の臭名い。遊就館理の大旗と。俱に世上の胡盧。「憐れにも又小氣味よさ

海戰の花

「沼々と天に冲せる狂瀾怒濤。海洋嶋の近海よ。味方二倍の敵艦を。一舉微塵と打破り。黄海覇權を奪ひたる。虎奮龍闘日に亘り。幾多の勇將猛卒が。國の犠牲と斃れゝる。「中に哀れを止めしい。比敵艦なる一水兵。榴彈双手に抱きつ、。大ころ大事なれ。火水となりて防ぎつ、。「拳下りに打下す。モーゼル銃の彈丸に。地の利あらざる日本勢。射もくめられて思はぬも。浮足立つたる有様に。得たりと寄する敵軍は。「潮滿來る如くにて。人波打つて一なだれ。あわれ味方い崩れ立ち。總敗軍と見へければ。長岡中佐は陣頭に。「馬を進めて跳り出。ひるむ味方を勵ましつ縦横無盡と奮ひ擊つ。「將軍大嶋旅團長。人の諫も聞かばこそ。敵兵間近くふ〜樹る。十一聯隊大旗の。「下に屹然駒を立て。天に轟く大音に。死はや物共國の爲め。「草むす屍皇恩よ。報ひん時は今そかし。引な〜と全身の聲を絞りて三軍を。叱咤なしつ、聯へば。將軍斯の如くなり。「いかで兵士のたゆむべき。猛虎の暴るゝ勢に。全軍忽ち盛返し。敵壘殘らず乘取つて。どつとあげたる勝鬨は。「乾坤奈落を震動す。記せよ國民忘るゝな。成歌牙山や船橋里。名にし大嶋將軍が。國と君とに盡したる其功勞は竹帛に。「垂れて千古に朽ちざらん

東洋の「チルソン」

「爛々と尖人射る紫電の眼。疎髯隆準戎服の。態度堂々勇しく。西京丸の「チリッヂ」に泰然動かず仁王立。右手に握れる双眼鏡。談笑自若と悠維場を。眼下に見やるい誰あらん。是そ東洋「チルソン」と者に聞ゆる一偉人。「子爵樺山將軍そ。見よや黄海戰爭に。武鋒少き報知艦。西京丸の働は。「人の耳目砲間近く進み寄り。「發射なさんを瞬間に。「霹靂飛來る敵艦の。彈丸忽ち破裂なし。流血淋漓の重傷に。倒れもやらぬ仁王立。彈を抱きて其儘に。離しもやらぬ有様に。傍の水兵いたわりて。御身が持てる榴彈い。「我そ代らんいざこめて。仇を微塵に砕かんと。諭を言に莞爾と。微笑なしつ、彈丸を。友に渡志て斃れける。「最期の程を勇ましき。赤き心の赤城艦。橋口少尉い檣頭に。立つて彈度を測り去が。不意に飛來る敵彈に。腹洞を打抜れ。「無念の聲と諸共に。軍刀引抜き真向に。振翳さつ立すくみ。倒れもやらぬ其儘に。「敵を睨みて死してけり。此水兵は「兵士官」是等勇將猛卒の。赤き血汐い我旗の茵染なる旭日影。「勇威い天下よ轟けり

橋里

「黄龍の軍旗翻砲聲高く。敵の驍將馬建忠。葉志超等を始とし。精鋭勇猛清兵ら。「花と聞へし盛子軍。必死となりて待かくる、要害堅固の船橋里。此手に向ふは人も知る。「混威旅團の精兵そ。砲聲轟々凄じく。煙の中より氷なす。及抜つれ攻寄する。敵も流石の盛字軍。爰を先途と打出も。「彈丸ぬ霰と飛來り。進まん術もわらされど。一歩も退かず奮擊つ。火花を散らす血戰に。若月林を始とし。二十餘名の猛將が。「露と消へたる有様に。勇氣益加はりつ。屍の山を躍越へ。血汐の河を飛渉り。雷霆電擊數時間。喚き叫んで進擊す。敵も今

を驚かし。鐵甲ふ敵艦を。痛く惱ましめ自らも。大傷數ケ所に及びつゝ。舳艦接せる敵艦の。間隙鋭く衝出て、。悠々然と引上し。「大膽不敵の振舞は。樺山將軍其人の。威名と俱にかくれなく。名譽を載せて立歸る。呉の軍港に天晴の。「栄を得たるぞ勇ましき。想起せば往にし年。下院壇上熱血を濺ぐ大喝一聲に。三百議員を叱咤せる。「風雲龍蛇の勢い。今や再び迸り。其名も高き大孤山。海戰史上の花となり。赤髭社會の心膽を。「寒からしめしぞ大快事

戰利品

「東洋の地圖を披きて觀察すれば。日清二國い自ら。唇齒の關係管ならず。和親協力白人の。跋扈を制して邪國に。亞細亞人種の勢力を。發揚すべきは大然の。「大勢たるをば知らざるか。傲慢愚昧の豚尾國。常に皇國を蔑視なし。我よ對して蟷螂の。「斧を磨くぞ笑止なれ。頃は明治も廿歳に。餘る七歳央すぎ。俄然忽然雞林の。「天に雲湧き雨起り。両國爰に衝突の。果は干戈に訴へて。開戰壁頭豐島の。沖に敵艦打破り。尋ひて成歡乂牙山。「一潟千里の勢に。要害堅固の平壤に。凱歌起れる大勝利。耳に入りしも思ふ間よ。又も聞ゆる大孤山。支那艦隊を粉微塵。旭の軍旗の行先に。「手に立つ敵ところなかりけれ。されば第一海戰に敵兵諸共捕へしは。「是ぞ軍艦操江號。其他海陸數回の勝を制して奪ひたる。分捕品は數知れず。

廃海往かば。水づく屍と昔より。誓ひて國に盡しけり。「人生値五十年。命惜みて萬代の。名を汚すべき事やある。恩ある限り進み撃て。君に捧ん命そや。「國の譽れを增す身そや。敵の矢玉を背に負ふな。面を向けて進み往け。軍旗の許いすめらぎの。玉座の前に異らず。さて宮の命令は。畏き勅語と服従し。水火の中も彈丸の。「雨や霰も何のその。此精神だに撓まずば。如何なる事か成ざらん。黄金の瑪は雲井より。輝く勳功を待つならん。豐榮昇る旭の旗を。北京の城に押建て。無明の夢をば打破り。平和の基礎を永遠に。立て、勳功を完ふし。「叡慮安んじ奉り。凱歌を揚げて旋るへし。進めや〳〵いざ進め。進めよ〳〵丈夫よ

流行メッチャ節

○日本の兵士は餘程強い者二萬餘人の豚尾兵を平壤でメッチャ〳〵

○日本軍人餘程強い者、黄州占領支那人敗亡平壤はメッチャ〳〵

○日本の海軍餘程強い者味方二倍の支那艦隊を黄海でメッチャ〳〵

○日本の臣民はなか〳〵きつい者軍費に献金出したいチウアヤ家も田地も賣こかも

○日本の臣民はナカ〳〵きついもの軍費に幾千か出したいチウア衣類も賣こかす

わけて中にも平壤の役に得たりし韓錢や。金銀塊を取交て。北領數百餘萬圓。「背の嚢の芳ばしき。八重カ重の九段坂。遊就館を訪れて。所狭きまで陳べたる。臆病國の紀念物。「見よや人々見よや人。されぞ是等は何のうの。遠くもあらぬ其内に。四百餘州の大國い。「皆是れ日本の戰利品。我手に落ちし其上は。大平洋に陳列し。東西半球各國の。人に昔ぬく示しつ、。「傲然世界に誇るべも

秋水三尺

「豚然と鞘を拂ひて督見すれば。光芒三尺霜凛々。日本刀よ日本刀。西南以來汝こそ。運命拙きものはなし。塵の中に埋もれて。深く倉庫に幽せられ。好む血汐の一滴も。「吸いん術とて無うしぞ。されど浮世い小車の。時運い爰に回り來て。「鑾輦下れる宜戰のおやよ。惶き詔勅に。汝い時を得たりけり。十八年の天津風。多年渴せし鮮血を。「今ぞ吸はせん飽までも。十有餘年の其間。腕をさすりて。徒に脾肉を歎せる丈夫が。今ぞ汝を伴ひて。「四百餘州を蹂躙し。北京城頭翻と。旭の國旗閃きて。城下の盟に遠からぜ。蒙味野蠻の豚の鼻。挫かぬ内い飽迄も。ちやん〳〵坊主の鮮血を。「いざや吸はせん飽までも

進軍の歌

「いざ進め國を愛する勇兵猛士。我丈夫は山行かば。草むす

○松崎大尉はナカ〳〵忠義もの御國の光りを見せたいチウア計死を遂げまする

○支那の大將餘程弱い者旗も帽子も其儘打棄雲を霞とメッチャ〳〵

○清國の兵士は餘程馬鹿な奴白旗おし立て逃げやうチウナ我が身を生捕られ

キンキ節

○日清交渉破烈して。長崎乘出す軍艦に。積いて混成一旅團。軍旗堂々と飜へし。山と泊るも國の爲。海に宿るも國の爲。卑劣極る豚尾坊主。日本海軍此の時と。兵器彈薬整のひて。豐嶋附近よ進撃し。難なく敵艦打沈め。八十餘名を生捕て。佐世保港に拘留する錦旗(欣喜〳〵〳〵愉快〳〵

○陸軍少將大島は。混成旅團の長となり。萬里の波濤を乘越て。兵士數多を引卒し。炎威侵すも彼が爲。野營するのも彼が爲。憲恨極る豚尾漢よ。頃は七月二十九の。曉相國に勢揃ひ牙山附近に進撃し。難なく成歡打つぶし。軍旗糧食分捕て。國の光を輝のす欣喜〳〵〳〵ユーカイ〳〵

流行トンヤレ節

○皆さん〳〵御馬の前にコロ〳〵するのは何んじやいな、アレはちやん〳〵坊主をちよん切つた首だか知らないが、トコトンヤレトンヤレナ

○皆さん〳〵頓間な態でビヨコ〳〵走るは何んちやいな、アレハ敗北清兵の様て、逃げるを知らないか、トコトンヤレトンヤレナ

○皆さん〳〵女の服でコソ〳〵逃げるは何んじやいな、アレは清將士成が忍んで落ちるを知らないか、トコトンヤレトンヤレナ

○皆さん〳〵軍隊の前でペコ〳〵ふ辞義は何んちやいな、アレは降參のちやん〳〵が助命を願ふを知らないか、トコトンヤレトンヤレナ

○皆さん〳〵敵兵の中に晃々光るは何んちやいな、アレは味方の兵士が抜刀で進むを知らないか、トコトンヤレトンヤレナ

○皆さん〳〵豐島の沖でブク〳〵沈むは何んちやいな、アレは清國兵士の運送船だか知らないか、トコトンヤレトンヤレナ

○皆さん〳〵渤海灣でドンドと撃つのは何んじやいな、アレは日本軍艦が進擊したのを知らないか、トコトンヤレトンヤレナ

大強い武士

○オーイ〳〵。李鴻章どの。其國此方へ渡してしまへ。李鴻章吃驚仰天し。否々たいでは渡しません。無理ぢりに。從ふた。

弱虫の逃げ兵士。ろろ〳〵軍をなされませ。やれ〳〵しかといい李鴻めと。海陸が。何の苦もなく。追ひ落し。日の丸國旗を北京城の上に樹て。日本大勝利

ヒヤ〳〵節

逃げやさやんせ逃げやしやんせ、メッポ矢鐵に逃げやしやんーセ大將逹や眞先からでも逃れしやんしたか、如何去ても日本にや勝れないテモマア難義な戰爭ナネバア〳〵

仙臺節

支那の方から撃懸け置いて、和陸を願ふい何の事、仲裁あろが謝罪ろが、陸の順路が遠かろが威海旅順が堅かろが、北京を突かねばコツヤナンダイ免しやせぬ

同（支那兵の心）

腹病未練い楽より覺悟、今更逃げるか可笑いが、親が討たりよが子が死のが、李鴻章親分が怒らふが、生命あつてのコツヤナンダイ物種た

線かいな節

闘く戰爭海陸に閃めく御旗の日の丸は四百餘州に輝きて進むは御國の運かいな

忠貞武勇の有様に示す詔勅就中で慈愛のこもれる鑑有さ是は御國の恩かいな

國の爲には身命も投打つ日本の愛國者渡る朝鮮支那の國乗取る北京の城かいな

夜の夜中も軍人い道に斥候風紀衛猟を焚いて嚴重に張るい哨兵線かいな

堅く守りし平壤も難なく破る日本兵手柄い重き分捕の箱に數多の金塊な

威海旅順の砲臺を難で難なく打破り進んて攻める海軍が乗取る渤海灣かいな

お前まち〳〵

○海にもいげしさた、かひに敵兵の七ツのお船のしつむまでコチヤ我國海軍大勝利コチヤエー〳〵

○敵の支那兵へいじやうにこもるともせむれば忽ち總くづれコチヤ我國陸海大勝利コチヤエー〳〵

○いともかしこきおしんせい錦のみはたの御おくわうは清國はつちくするまでもコチヤ帝國万歳大勝利ナダヤエー〳〵

○お前い支那のりかうしやう日本にうたれてお色もまつさをだコチヤ討れて役目も取り剝れコチヤエー〳〵

日清事件一ツトヤ節

一ツトヤ　廣島師團や松山の〳〵

二ツトヤ　操込む兵士ろ勇ましし〳〵再び歸いらぬ決心で〳〵乘り込め奉天北京まで〳〵

三ツトヤ　御國の勢示もそのい〳〵チヤン〳〵征伐好い機會〳〵

四ツトヤ　弱虫猟の支那兵よ〳〵勿体なけれど日本刀〳〵

五ツトヤ　威勢既さ日の本に〳〵刀向ふ豚尾ろ身知らずよ〳〵

六ツトヤ　向ふに敵なき日の丸の〳〵旗風戰く萬里城〳〵

七ツトヤ　浪風凄いて威海衛〳〵見る〳〵砲臺打崩し〳〵

八ツトヤ　大和魂打揮て〳〵四百餘州を粉微塵〳〵

九ツトヤ　後備や豫備で足らぬなら〳〵五千餘万い皆兵そ〳〵

十ツトヤ　トウ〳〵清國打敗り〳〵帝國目出度大勝利〳〵

明治廿七年十月十日印刷
年十月十三日發行
神田區御成道田代町九番地
岡田常三郎方
編輯印刷兼發行者　中丸貞成
發行所　同
壯年倶樂部
下谷區西黒門町二十二番地
印刷所　知足堂

○大日本書籍行商社出版書目

●朝鮮風俗實記　一錢
●日清韓三國大戰之機　二錢
●日清海陸大戰眞況　二錢
●我軍大勝利　二錢
●日清韓三國要覽　五錢
●朝鮮全圖色摺　二錢
●清韓兩國之圖　二錢
●日清韓陸海軍要地圖　二錢
●日清韓女海賊龍神於虎上下　四錢
●支那征伐萬歲節　二錢
●日本刀　一錢
●清國武器分捕品眞圖　二錢
●時事痛快節　二錢
●壽鑑武士　一錢
●議會武士　一錢
●相馬事件一大波瀾　三錢
●帝國代議士姓名錄　三錢
●彷彿訓大日本帝國憲法　五錢
●無病の秘傳長命の種　三錢
●市制町村制理由　三錢
●大日本長者鑑（金高附）　三錢
●新撰遊化機論　八錢
●夫婦寢やの樂　三錢五厘
●刺客西野文太郎之傳　三錢
●國會美人操壯士之血刀　三錢
●正一位三條公肖傳　三錢
●東京名所八日めぐり　三錢
●故西鄕隆盛幻奇談　三錢
●大日本參議院議員表　一錢
●特許意匠商標條例　二錢
●子の出來る法　三錢
●子の出來ぬ法　合　三錢
●人肉賣入裁判　五錢
●廢娼存娼大議論之結局　三錢
●萬國統計表　二錢
●明治奇談廓の榮當　三錢
●藝妓殺土產生首　三錢
●現今有名家一覽表　二錢
●貴族院議員一覽表　二錢
●國會傍聽議場之奇談　三錢
●民法人事錄俗解　三錢
●商法早わかり　三錢
●新奇術百二十法　三錢
●西鄕君再生奇聞　三錢
●登久川秘譚証據刻鑄　女天一　三錢
●憲法國會道稀しるべ　三錢
●晴天白日大赦人名錄　三錢
●改正官員錄上下二冊　四錢
●大分縣下小夜嵐美人の生膽一大珍事　三錢
●探偵寄談　三日月於六之傳　上下　四錢
●國會議員選擧の血潮　三錢
●華族鮮血染振袖　上下二冊四錢
●騷動　上等彩色石版摺極美本　一冊實價金拾五錢

新聞書籍額賣子募集

弊社にては何時にても賣子を募り申し度し業務の餘暇修學貯金等出來得る樣懇切に御世話申し候間本志の方は御來談われ

へや一大問題コソ現レタリ本書其秘密ヲ穿チ餘ス所ナシ江湖具眼ノ士幸ニ一本ヲ購ヲ是ヲ一大騷動一大問題ノ根原ト其目下ノ眞相トヲ識得セヨ

以上御籍一部ニ付郵稅二錢別ニ申受十部以上御求の方には郵稅弊社持にて送本可仕候但シ前金郵便切手代用不苦

新聞書籍行商社元祖

大賣捌

東京神田區御成道田代町
大日本書籍行商社
日本橋區小傳馬上町日三番地　右第一分社
下谷區仲徒士町一丁目卅番地　右第二分社
群馬縣下前橋田中町六十九番地　右第四分社
信濃國植科郡松代町
京都姉小路油小路東へ入　右第五分社
東京市麴町區麴町拾丁目十五番地　右第六分社
朝日新聞專屬賣捌　右仝出張店
北海道渡島國函館若松町五番地　右代理店小倉利七館
石川縣金澤市西馬場町五十八番地　右代理店成陽館
山梨縣甲府市八日町八番地　右代理店松本米兵衛

徳川家内幕

金城奇聞

方今世上ニ騷々タル相馬事件ヨリ尙一層社會ニ影響ヲ及ボス